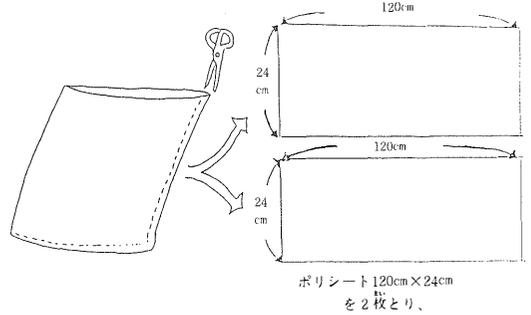
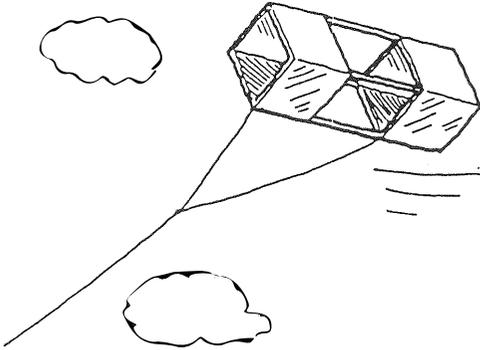


あんどんだこを作ろう

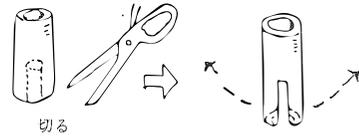
[対象：全学年共通]

★ねらい ひのき棒やポリシートを使って、骨組みを組合せ直方体のあんどんだこを作り、立体だこを製作する楽しさや上げる喜びを味わわせる。

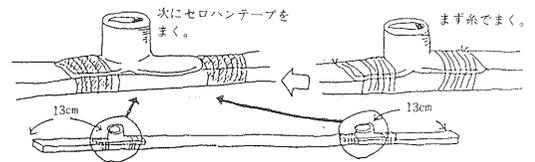


(1) 本体を作る。

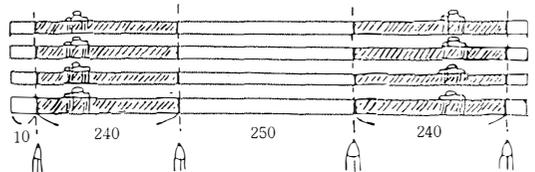
① ビニール管を下図のように、切る。



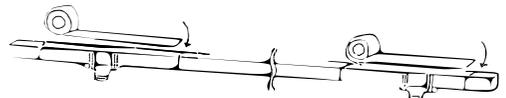
② 角材の長いほうに、はしから13cmの位置に取りつける。



③ ポリシートの骨をはりつける部分に線を引く。



④ 角材のポリシートをはりつける部分に、両面接着テープをつける。



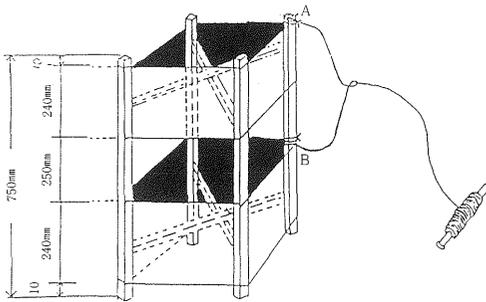
○ 長い角材4本とも両面テープでとめる。(ポリ

1. あんどんだこを作る

[準備物]

- 角材 4 × 4 × 750mm 4本
- 角材 4 × 4 × 420mm 4本
- ビニール管
240 × 1200mm 2枚
(用意するポリシートは長さ24cmで幅60cmの筒状になっていると便利)
- たこ糸 1巻
- はさみ ・ えんぴつ ・ もめん糸
- セロハンテープ ・マジック

1 あんどんだこを作る

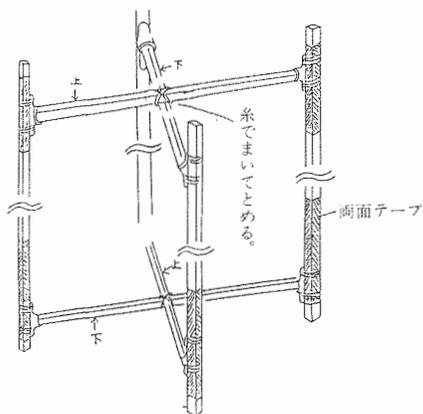


シートをはりつけるため)

⑤短い角材の両端をビニール管にはめ込んで、たこを組立てる。

○短い角材が×の字になるように組あわせたら、真ん中をもめん糸でまいてとめる。(セロハンテープでもよい。)

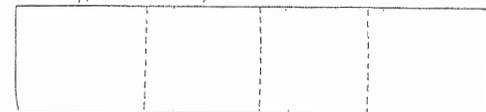
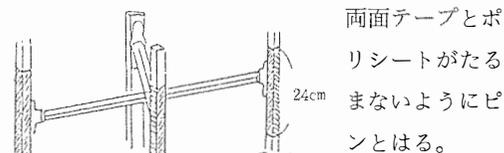
○はめこむのがきつい場合には、角材をすこしけずる。



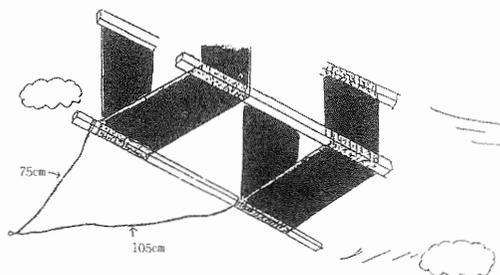
⑥ポリシートに長い角材をはる。

○ビニール管は、すべて中央を向くようにする。

○ポリシートをはる時に、たこの骨についている



○ポリシートを輪にしないで開いた形で一面づつ貼っていく。



⑦AとBに目糸をつける。

○上糸目75cm、下糸目105cmの長さにして結ぶ。

2. 飛ばし方

①たこを上げる時に、風が強かったら、下糸■糸を長くするように指導することが大切です。

風が弱かったら、下糸目糸を短めにするように指導する。

②たこを上げるためには、風にどのように向かったらいいか考えさせると、飛ばし方が一層よく理解できる。

③たこを上げる時には、たこの糸目を持ち、軽く上下にふりながら、糸をくりだし、試し上げをしておく。

④風の強さが変わるときには、糸をたぐったり伸ばしたりしながら調節させる。

⑤たこの上がり方が悪い場合は、糸目糸のつけ方や骨組みのバランスやポリシートの貼り方やテープの貼りが原因の場合が多いので、傾いてしまったり回ってしまった方の■対側にセロハンテープなどを巻いて重りにするとよい。

⑥たこ糸が交差してからまないように、一人一人の間隔を十分とるようにする。

4. 資料

誠文堂新光社 大橋栄二・著

「世界の凧」 —はてしない大空へ—